

外観試験

試験項目		試験方法	合否の判定基準
水源	水源の種類・構造	目視により確認する。	適正であること。
	水量		規定量以上確保されていること。
ポンプの設置場所	消防ポンプ自動車等（自動車によつて牽引されるもの及びポンプ積載車を含む。）	設置場所	目視により確認する。
		周囲の状況	雨等の影響を受けるおそれのない措置が講じてあること。
		水源からの歩行距離	周囲には、使用の障害となるものがないこと。
	可搬消防ポンプ	設置場所	目視により確認する。
周囲の状況	周囲には、使用の障害となるものがないこと。		
水源からの歩行距離	水源の直近（おおむね3 m以内）の場所であること。		
動力消防ポンプ		目視により確認する。	自主表示マークが付されていること。
装 備 器 具 等		目視により確認する。	放水用器具その他適正な必要器具等が必要数装備されていること。

機能試験

試験項目	試験方法	合否の判定基準
始 動 試 験	エンジンの始動操作をする。	エンジンの始動が円滑に、かつ、容易にできること。
吸 水 試 験	吸管を結合して吸水操作を行い、状況を確認する。	a 給水が確実に行えること。 b 真空計又は連成計により測定した真空指度が適正であること。 c 真空ポンプを停止した場合著しい真空指度の低下がないこと。 d 吸水完了後又は放水時には真空ポンプが確実に停止できること。
放 水 試 験	必要本数のホースを結合延長し、放水操作を行って状況を確認する。	a 吸水口又は放水口の弁の操作は、容易であること。 b 所要の放水圧力及び放水量が得られること。
試 験 時 の 運 転 状 況	始動試験、吸水試験、放水試験時に全体的に確認する。	a 各部からの著しい漏水がないこと。 b エンジン及びポンプの性能は、適正であること。 c 計器の指示が適正であること。 d 各部分にゆるみ、脱落、損傷等がないこと。

